

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-148	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	英 I 342	EMPOWER English Expression I Mastery Course		

## 1. 編修の基本方針

教育基本法第 2 条の目標を達成するため、題材および言語活動の内容は、生徒の発達段階を考慮しつつ、個人の成長に資するだけでなく、個人と社会の相互補完的な関係について考える機会を設けるものを選定した。

## 2. 対照表

	図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Part I	Unit 1 I'll introduce my school	自分の学校やクラブ活動について述べる活動を通じて、自己の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。(第 2 号)	11～16 ページ
	Unit 2 Let's write our profiles!	自己および友人を紹介する活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養う。(第 2 号)	17～22 ページ
	Unit 3 Let's talk about our favorite things!	自分の好きな物事について述べる活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばそうとする態度を養う。(第 2 号)	23～28 ページ
	Unit 4 When in Rome、 do as the Romans do	日本と外国の習慣の違いについて述べる活動を通じて、自国と他国の文化を尊重する態度を養う。(第 5 号)	29～36 ページ
	Unit 5 Made in Japan	日本の発明品について述べる活動を通じて、日本の事物や文化を尊重する態度を養う。(第 5 号)	37～42 ページ
	Unit 6 Planning the perfect vacation	旅行で学びたいことについて述べる活動を通じて、幅広い知識と教養を身につけようとする態度を養う。(第 1 号)	43～52 ページ
	Unit 7 How to spend your holidays	休日の過ごし方について述べる活動を通じて、個人の価値を尊重するとともに、自己の能力を伸ばそうとする態度を養う。(第 2 号)	53～58 ページ
	Unit 8 Good manners and bad manners	良いマナーと悪いマナーについて述べる活動を通じて、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。(第 3 号)	59～66 ページ
	Unit 9 Let's learn about other countries!	日本と外国の比較について述べる活動を通じて、幅広い知識と多様な物の見方を身に付けようとする態度を養うとともに (第 1 号)、自国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。(第 5 号)	67～72 ページ

	Unit 10 Let's introduce a World Heritage Site!	日本や外国の世界遺産について述べる活動を通じて、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うとともに（第 4 号）、自国と他国の伝統と文化を尊重し、国際社会の発展に寄与する態度を養う。（第 5 号）	73～80 ページ
	Unit 11 How can we become more foreigner-friendly?	日本を外国人観光客に優しい国にするためのアイデアを述べる活動を通じて、自他を尊重するとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。（第 3 号）	81～86 ページ
	Unit 12 What is your opinion?	デジタル・コミュニケーションの長所と短所を述べる活動を通じて、幅広い知識と多様な物の見方を身に付けようとする態度を養う。（第 1 号）	87～90 ページ
	Unit 13 Robots are our friends	今後必要とされるロボットについて述べる活動を通じて、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。（第 3 号）	91～94 ページ
Part II	Unit 1 How about sightseeing in Chiba?	地域の紹介に関する題材を通じて、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養う。（第 5 号）	98～99 ページ
	Unit 2 Then and now	テクノロジーが若者の生活に及ぼす影響に関する題材を通じて、幅広い知識と多様な物の見方を身に付けようとする態度を養う。（第 1 号）	100 ～ 101 ページ
	Unit 3 How to make <i>tonkatsu</i>	日本の料理に関する題材を通じて、伝統と文化を尊重する態度を養う。（第 5 号）	102 ～ 103 ページ
	Unit 4 The Youngest Nobel Peace Prize winner	ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイの題材を通じて、正義と責任、男女の平等を重んじ、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。（第 3 号）	104 ～ 105 ページ
	Unit 5 How about writing to a friend in English?	ペンフレンドの意義に関する題材を通じて、幅広い知識と多様な物の見方を身に付けようとする態度を養う。（第 1 号）	106 ～ 109 ページ

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第 51 条第 2 号の「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」を目指して、特に以下の点に留意した。

- ・文法については、言語活動と効果的に関連付けて学習できるように、当該文法を用いて話したり書いたりする活動を充実させた。(Part 1 の各 Unit の From Grammar to Communication、Grammar for Expression)
- ・身近な話題について、まとまった内容の英文を書いて発表することができるように、原稿作成から発表にいたるまでの手順を学習できるようにした。(Speech & Presentation 1～3、51～52 ページ、95～96 ページ、110～112 ページ)

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-148	高等学校	外国語	英語表現 I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
212 桐原	英 I 342	EMPOWER English Expression I Mastery Course		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・基礎的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを適切に活用する能力をはぐくむために、中学校や高等学校における学習内容を、平易な内容からより難しい内容へと段階的に配列した。
- ・個人の価値、伝統と文化を尊重する精神を養い、主体的によりよい社会を実現しようとする態度を養うために、自己紹介や友人の紹介、日本の事物や文化の紹介、日本と外国の比較、公共のマナー、社会参加などの題材を採用した。
- ・言語や文化に対する理解を深めるために、文法を適切に運用する能力を養う言語活動を設けるとともに、国内外の多様な文化や習慣を知ることができる題材を取り上げた。
- ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するために、生徒が自分の興味や自分の考えについて話したり書いたりする言語活動を設けた。
- ・情報や考えを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を養うために、以下の点に配慮した。
  - ① 生徒に身近な言語の使用場面を設定した。
  - ② 文法を使って話す・書く活動を数多く設けることによって、生徒が文法の規則を理解することにとどまることなく、文法をコミュニケーションに活用できるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
<b>◆Part I</b> <b>From Grammar to Communication</b> 文法を活用して英文を話す・書く  <b>Unit 0 Basics of English</b> 英語の基本となる語順、品詞、句と節についての学習。  <b>Unit 1-13</b> ①Target 各 Unit のモデル英文。以下の②Listen、③Let's Talk と内容につながりを持たせてある。  ②Listen 各 Unit のトピックに関連する対話や説明を聞いて、設問に答える活動。  ③Let's Talk 各 Unit のトピックに関連する内容について、ペアになって対話する活動。	●「3 内容の取扱い」の(3) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。  ●「3 内容の取扱い」の(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。  ●「3 内容の取扱い」の(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。  ●「2 内容」の(1)のア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。	8～10 ページ  11, 17, 23, 29, 37, 43, 53, 59, 67, 73, 81, 87, 91 ページ  同上  同上	1 時間  52 時間 (4 時間×13 Unit)

<p><b>④Grammar Focus</b> 英語を話したり書いたりするのに必要な文法の使い方を理解するための例文と解説を示した。</p>	<p>●第3款の2のイ 文構造のうち、運用度の高いもの ●第3款の2のウ 文法事項 (ア) 不定詞の用法 (イ) 関係代名詞の用法 (ウ) 関係副詞の用法 (エ) 助動詞の用法 (オ) 代名詞のうち、it が名詞用法の句及び節を指すもの (カ) 動詞の時制など (キ) 仮定法 (ク) 分詞構文</p>	<p>12, 14, 18, 20, 24, 26, 30, 32, 34, 38, 40, 44, 46, 48, 54, 56, 60, 62, 64, 68, 70, 74, 76, 78, 82, 84, 88, 92 ページ</p>
<p><b>⑤音読のコツ</b> 英文を音読する際に注意すべき音声的な特徴を示した。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。</p>	<p>14, 18, 20, 24, 26, 30, 32, 34, 38, 40, 46, 48, 56, 60, 62, 64, 68, 70, 74, 76, 78, 82, 84, 88, 92 ページ</p>
<p><b>⑥Drills</b> Grammar Focus で学習した文法の理解を深め、運用力をつけるための問題。</p>	<p>●第3款の3のイ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。</p>	<p>13, 15, 19, 21, 25, 27, 31, 33, 35, 39, 41, 45, 47, 49, 55, 57, 61, 63, 65, 69, 71, 75, 77, 79, 83, 85, 89, 93 ページ</p>
<p><b>Drills 4 (Grammar in Context)</b> は、具体的な文脈・場面の中で、文法の使い方を習得することをねらいとした。また、完成した英文を音読する練習を設け、学習事項を内在化させるようにした。</p>		
<p><b>⑦Grammar for Expression</b> Grammar Focus で学習した文法を使って、対話したり、話したりする活動。</p>	<p>●「2 内容」の(1)のア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。 ●「3 内容の取扱い」の(1) 話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。 ●「3 内容の取扱い」の(3) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。 ●第3款の3のイ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。</p>	<p>13, 15, 19, 21, 25, 27, 31, 33, 35, 39, 41, 45, 47, 49, 55, 57, 61, 63, 65, 69, 71, 75, 77, 79, 83, 85, 89, 93 ページ</p>
<p>各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の「言語の働きの例」から適宜選択して取り上げた。</p>	<p>●第3款の1 [言語の働き] a コミュニケーションを円滑にする b 気持ちを伝える</p>	<p>31, 83 ページ  41, 45, 47, 79, 85 ページ</p>

<p>⑧From Grammar to Communication 各 Unit のトピックに関連する内容について、Grammar Focus で学習した文法を用いて、情報や意見を話したり書いたりする活動。</p> <p>適宜、聞いたり読んだりする活動と、話したり書いたりする活動を統合した活動を設けた。</p> <p>各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第 3 款の 1 の「言語の使用場面の例」および「言語の働きの例」から適宜選択して取り上げた。</p>	<p>c 情報を伝える</p> <p>d 考えや意図を伝える</p> <p>e 相手の行動を促す</p> <p>●「2 内容」の(1)のア 聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>●「2 内容」の(1)のイ 読み手や目的に応じて、簡潔に書く。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(1) 話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p> <p>●第 3 款の 3 のイ 文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(3) 多様な場面における言語活動を経験させながら、中学校や高等学校における学習内容を繰り返して指導し定着を図るよう配慮する。</p> <p>●「2 内容」の(1)のウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。</p> <p>●「2 内容」の(2)のエ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(2) 聞くこと及び読むこととも有機的に関連付けた活動を行うことにより、話すこと及び書くことの指導の効果を高めるよう工夫するものとする。</p> <p>●第 3 款の 1 「言語の使用場面」</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らし</p>	<p>13, 19, 25, 27, 35, 39, 55, 63, 65, 69, 71, 75, 77, 93 ページ</p> <p>15, 21, 49, 61, 81, 89 ページ</p> <p>31, 33, 57, 83 ページ</p> <p>22, 50, 58, 66, 86, 90 ページ</p> <p>16, 22, 28, 36, 42, 50, 58, 66, 72, 80, 86, 90, 94 ページ</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>同上</p> <p>22, 50, 58, 66, 86 ページ</p> <p>86, 90 ページ</p> <p>16, 22, 28, 36, 42, 50, 58, 66, 72, 80, 86, 90, 94 ページ</p> <p>22 ページ</p> <p>16, 28, 36,</p>	
---	--	--	--

	<p>にかかわる場面</p> <p>42, 50, 58, 66, 80, 86, 90, 94 ページ</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面 72 ページ</p> <p>●第3款の1 [言語の働き]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする 22 ページ</p> <p>b 気持ちを伝える 36, 50, 86 ページ</p> <p>c 情報を伝える 16, 22, 28, 36, 42, 50, 58, 66, 72, 80, 86, 90, 94 ページ</p> <p>d 考えや意図を伝える 86, 94 ページ</p> <p>e 相手の行動を促す 22, 58, 80 ページ</p>		
<p>◆Part II From Sentence to Paragraph まとまった内容の英文を話す・書く</p> <p>Unit 1-4</p> <p>①Target 各 Unit で学習するつなぎ言葉を含むモデル英文。</p> <p>②つなぎ言葉の例</p> <p>③Task つなぎ言葉の使い方を理解するタスク、および、つなぎ言葉を使ってまとまった内容の英文を書いたり話したりするタスクを設けた。 Can-Doとして、タスクで作成した英文を自分で確認する指標を示した。</p> <p>Unit 5</p> <p>①Target パラグラフの形を示すモデル英文。</p> <p>②パラグラフの形、パラグラフの構成、つなぎ言葉の解説</p> <p>③Task パラグラフの構成や、つなぎ言葉の使い方を理解するタスク、および、つなぎ言葉を使ってまとまった内容の英文を書くタスクを設けた。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のイ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。また、書いた内容を読み返すこと。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(1) 話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p> <p>●「2 内容」の(2)のエ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめたりすること。</p> <p>●「2 内容」の(2)のイ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くこと。</p> <p>●「3 内容の取扱い」の(1) 話したり書いたりする言語活動を中心に、情報や考えなどを伝える能力の向上を図るよう指導するものとする。</p>	<p>98～105 ページ</p> <p>98～105 ページ</p> <p>101 ページ</p> <p>106～109 ページ</p> <p>106～109 ページ</p>	<p>10 時間 (2 時間× 5 Unit)</p>

<p>◆Speech &amp; Presentation (Speech / Show &amp; Tell / Presentation)</p> <p>Unit 1-3</p> <p>①Target (モデル英文)</p> <p>②Speech / Show &amp; Tell / Presentation の構成</p> <p>③Speech / Show &amp; Tell / Presentation の原稿の書き方</p> <p>④Speech / Show &amp; Tell / Presentation の発表のしかた 聴衆の前で話す時の注意点を示した。</p> <p>⑤Q&amp;A 発表後の質疑応答の例を示した。</p> <p>各言語活動の設定にあたっては、学習指導要領の第3款の1の[言語の使用場面の例]および[言語の働きの例]から適宜選択して取り上げた。</p>	<p>●「2 内容」の(2)のウ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用すること。</p> <p>●「2 内容」の(2)のア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すこと。</p> <p>●「2 内容」の(1)のア 与えられた話題について、即興で話す。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す。</p> <p>●第3款の1 [言語の使用場面]</p> <p>a 特有の表現がよく使われる場面</p> <p>b 生徒の身近な暮らしや社会での暮らしにかかわる場面</p> <p>c 多様な手段を通じて情報などを得る場面</p> <p>●第3款の1 [言語の働き]</p> <p>a コミュニケーションを円滑にする</p> <p>b 気持ちを伝える</p> <p>c 情報を伝える</p> <p>d 考えや意図を伝える</p> <p>e 相手の行動を促す</p>	<p>51～52, 95～96, 110～112 ページ</p> <p>51, 96, 112 ページ</p> <p>52, 96, 112 ページ</p> <p>51～52, 95～96, 110～112 ページ</p> <p>51～52, 95～96, 110～112 ページ</p> <p>110～112 ページ</p> <p>51, 95, 110 ページ</p> <p>51, 95, 110 ページ</p> <p>51, 95, 110 ページ</p> <p>95, 110 ページ</p> <p>52, 96, 110, 112 ページ</p>	<p>7 時間 (Unit 1-2 は各 2 時間、Unit 3 は 3 時間)</p>
		計	70 時間